

## 欧米言語ゼミナール (その2)

2 単位 3 年 (後期), 4 年 (後期)

中島 浩二・准教授 / 社会創生学科

【授業目的】 言語教育および言語情報処理に関わるソフトウェア開発力を養成することを主目的としたゼミナールである。プログラミング言語としては、Perl, HTML, JavaScript を主として扱う。語学教育のためのソフトウェアを卒業作品として開発する。

【授業概要】 卒業作品の開発に向けて、e-learning システム (コンピュータを使った学習システム) を構築するための基本的技能 (プログラミング能力) を身に付けるとともに、言語分析の方法論や分析技法について考えていく。

【キーワード】 Perl, Web プログラミング, e-learning システム

【履修上の注意】 Unix, Windows などの OS およびコンピュータ言語 (主として Perl, HTML, JavaScript 等) に対する基礎知識が前提となるので、必ず「言語情報処理研究 II」を受講しておくこと。

【到達目標】 言語情報処理ソフトウェアあるいは言語教育支援ソフトウェアを卒業作品として開発する。

【授業計画】

1. e-learning システムを開発する技能を身につけるべくプログラミング実習を行い卒業作品を作成しうる技能を身に付ける。
2. 後期は主として CGI プログラミングの習得に重点を置く。

【成績評価】 ゼミへの積極的参加度合いと各自の研究テーマに沿った発表および作品 (ソフトウェア) による。

【再試験】 なし

【教科書】 授業中に適宜指示する。

【参考書】 「独習 Perl 第2版」 (武藤健志・トップスタジオ編著:SHOEISHA)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218430>

【連絡先】

⇒ 中島 (総合科学部 1 号館 (1S11), nakasima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜 16:10-17:10)

【備考】 この授業科目は 8 単位まで履修することができます。